

夢に向かって

～進路実現を目指して～

2 学年通信 H24.1

☆ 大学入試センター試験が実施されました！

1月14日(土)15日(日)大学入試センター試験が行われました。受験生にとってはまさしく人生を掛けての闘いです。本校の3年生230名も合格を目指して、真剣に問題に取り組んできました。

本校では、大学短大進学希望者は全員受験としていますので、君達も1年後受験することになります。

国公立大受験者はもちろん、私大の受験者もセンター試験の受験で門戸が広がりますから、センター試験に向けて全力で取り組んでください。

推薦入試やAO入試等、入試形態はいろいろとありますが、入学後の学生生活、そして現代において大きな試練となった『就職』の試験を考えると、高校で学ぶ基礎学力が非常に重要視されますから、高校レベルの学力の向上が必要不可欠なのです。

将来の夢の実現のため、志望校に合格するためにセンター試験に向けて1年間全力で頑張り抜きましょう。また、推薦入試等で大学入試を考えている人も、高校生活の最後まで学力の向上のために学習に真剣に取り組んで基礎学力を向上させて欲しいのです。そして3年間の学習の集大成が大学入試センター試験なのです。

2012年度大学入試センター試験平均点(1/17発表 河合塾自己採点集計速報より)

	2012年度平均点	2011年度平均点
5教科7科目 文系	570点	562点
5教科7科目 理系	584点	568点

教科	科目	2012年度平均点	2011年度平均点
英語	筆記	123点	122.78点
	リスニング	24点	25.17点
数学	I A	70点	65.95点
	II B	51点	52.46点
国語		118点	111.29点
理科	物理 I	68点	64.08点
	化学 I	65点	56.57点
	生物 I	64点	63.36点
地歴	世界史 B	61点	61.46点
	日本史 B	67点	64.11点
	地理 B	62点	66.40点
公民	倫理	69点	69.42点
	政治経済	58点	58.97点
	倫理・政治経済	67点(新規科目)	—

国公立大学志願者にとって重要な5教科7科目の平均得点率は、文系63.3%、理系64.8%と昨年度に比べて上昇しました。おそらく各大学のボーダー点も上昇するでしょう。

また今回から理科と地歴公民の受験の仕方が変更になり、2科目受験の場合には問題冊子が2科目分配付され、60分経過後「第1受験科目」の解答用紙を提出し、その後「第2受験科目」を解答し提出することになりました。

また、『倫理・政治経済』という新規の受験科目が加わりました。4単位科目必修の大学を視野に入れる場合には、是非受験科目として考えてください。(旧帝大、長岡技術科学大等)両方勉強するのは大変ではありますが、広く浅く勉強していればいいので平均点が高いのかもしれませんが、君達は3年生で倫理を履修します。倫理は参考書や問題集が少ないのですが、例年センター試験の平均点が高いのが一つの特徴です。

★ 3年0学期が始まりました！！

1年後のセンター試験に向けて、1日も早く《受験生》に変身しましょう。受験生だと自覚するだけでなく、具体的な行動を起こすことが大切です。

受験にフライングはありません。スタートダッシュで先手を取りましょう！

具体的な行動として、まずは次のようなことから始めたらどうでしょうか？

1、1月模試の復習に全力で取り組む。

模試の解答解説は学力upのための“宝の山”です。これを有効利用するのが、受験レベルに学力をupさせる近道なのです。

英語の解答解説には、ポイントとなる重要な単語や熟語が記載されていますし、『解答のポイント』が分かりやすく書かれています。覚えていなかった単語や熟語はこれを機に覚えてしまいましょう。そして、最も大切な長文を読めるようにするために、問題用紙の行間に、ポイントや単語の意味、日本語訳などをぎっしり書き込んで、何度も読みながら訳すことが大切なのです。**そしてその時により大切なことは、声に出して読むことです。**繰り返し音読することで、アクセントや発音も口(体)で覚えることができますし、自然と英語が体に染みついていくのです。音読は速読の練習にも大きな効果があります。

数学はまず、解答解説の解き方を理解しなければなりません。その上で、自分でも解けるようにすることが重要です。欄外に記載してある公式やポイントはチェックして覚えるとともに、図やグラフの書き方も理解してください。

国語の解答解説の【解答のポイント】は記述問題の解答に必要な要素です。設問の意図を理解し、別解を作るのもいいでしょう。[覚えよう]は入試でも役に立つ重要事項がまとめられているので、必ず覚えましょう。また、古文漢文は英語と同じように、たくさん書き込みをして、音読すると圧倒的な効果があります。国語は暗記をあまり重要視しないように思われがちですが、語彙力、文法をしっかりと頭に入れなければなりません。

地歴公民はまず、「出題のねらい」を読んでください。入試問題でも問われる視点が示されています。その上で【基本、重要、頻出】の問題は必ず覚えてしまいましょう。

理科もやはり、「出題のねらい」を読んで、何が問われたかを振り返った上で、【正解のポイント】でその問題の解き方の大切な点を理解し、【重要】でその問題以外にも使える大切な考え方を理解しましょう。特に物理は、公式を確実に使いこなせることが大切なので、コピーしてノートに貼ってたくさん問題演習を積みましょう。

すべての科目の問題をもう一度解き直すのは当然のことです。

2、2月マーク模試の対策に全力で取り組む。

1月模試の復習に取り組んでいると、今度はあっという間に2月マーク模試がやってきます。センター試験早期対策テストと名付けられているとおり、高校2年生が初めて取り組むセンター試験のための模試です。当然センター試験と形式は同じにしていますが、難易度は易しく作ってあります。この模試の対策を万全にすることで、自然と受験モードに切り替わったという先輩達も多くいました。

まずは過去問を入手しましょう。担任の先生にお願いして、過去問を3年分コピーしてもらいましょう。“宝の山”の【解答解説】もお忘れなく！

そして、必死に問題に取り組んでください。時間はたっぷりとかけてください。辞書や教科書、参考書何でも使って、できる限り高得点を目指しましょう。

次に【解答解説】を熟読して復習するのは、1月模試と同じように行います。

特に、英語の長文にたくさん書き込みをした上で、**音読するのが最重要**です。

★ 1年後の大学入試センター試験に向けて

教科書の範囲を逸脱しない基本的な問題が出題されるセンター試験ですが、教科書が「分かった」だけでは点数は取れないのです。「分かった」から「問題が解ける」ようにならないと点数には結びつきません。ですから、上記のように、模試問題を使って学習することが重要なのです。授業と定期考査で教科書が「分かった」ら、模試レベルの「問題が解ける」ようになるために、模試に向けて演習を積んでいくことが重要なのです。

勉強を始めると、必ず壁にぶつかります。一生懸命やっても成績が上昇しなかったり、諦めてしまう自分がいたりします。その時が成長するチャンスです。学習方法を改善したり、自分の甘さに気づいたり、もっと本気でやらなければならないと反省したりしていくものです。そのように壁を乗り越えることで、人間は成長していくものだし、将来資格を取ろうとか、就職試験の時にその経験が生きてくるのです。1年間の頑張りに期待します。